

令和5年度 学校評価書 (計画段階・実施段階)

福岡県立浮羽工業高等学校(定時制課程)

自己評価					学校関係者評価		
学校運営計画(4月)				評価(総合)			
学校運営方針	日本国憲法、教育基本法の精神に則り、自律心や創造性を培い、心豊かで責任感あふれ、自ら学ぶ意欲を持ち、社会の変化に主体的に対応できる人材の育成に努める。				評価(総合)	自己評価は A : 適切である B : 概ね適切である C : やや適切である D : 不適切である	
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標		A			
<p>○教育相談の充実により、関係機関や保護者と連携して組織的な指導や支援が進み、落ち着いた学習環境が保たれた。基礎学力テストの結果を活用して、学力定着度や進路指導の方向性が確認できた。電子黒板やタブレット等のICT機器を活用し分かりやすい授業を展開した。学校行事や部活動等の様々な体験活動とおして仲間づくりや自信を持たせる指導ができた。給食や掃除の指導をとおり、健康に対する意識や自己管理能力を高めることができた。</p> <p>●キャリア教育の充実:発達段階や多様な進路に対応した指導</p> <p>●確かな学力の育成:基礎学力の育成と多様な学びの展開</p> <p>●地域連携の強化:関係機関や中学校との連携による修学支援と中途退学防止の推進</p>	個に応じたきめ細やかな指導を通して、就職・進学指導の充実を図り、生徒の進路実現に必要な力を身につけさせる。	適切な進路指導を通して、勤労観を重んじ個性の伸長を目指し、進路実現に向けた資質、能力を育成する。自己理解や資格取得に積極的に取り組ませる。合理的配慮が必要な生徒に対し、個に応じた適切な対応を図る。			A		
	基礎からの学び直しやさまざまな体験的教育活動等を通して、生徒に自信をつけさせ、可能性を広げる。	TTやICT等の授業を取り入れ、補講を充実させ、積極的に行うことで、基礎学力の向上や資格取得・高認試験合格を目指す。					
	学校行事や部活動を通して、健全な仲間づくりを支援する。	体験的教育活動を通して自信をつけさせ、それぞれの個性を發揮し、認め合える環境を作る。					
	信頼される学校づくりと、その広報活動を充実させる。	保護者や地域住民の信頼を得るために、広報活動を積極的に行い、生徒募集につなげる。					
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)		次年度の主な課題	項目ごとの評価	学校関係者評価委員会からの意見
中途退学・原級留置等の防止	組織的な支援体制の構築	生徒情報交換会、教育相談委員会を活用し、早期情報把握と職員の間での共通理解を図り、多角的な支援を行う。	B	B	生徒の日々の状態の把握と情報共有に努め、学習状況や出欠状況等の問題に対して、保護者・全職員で連携しながら課題の早期対応、継続的な対応	A	・中途退学者に対する手立てと、退学後の学校のサポート体制はどのようになっているか。 ・定時制がしっかりと様々な生徒たちを支えてくれているので助かっている。
	早期対応と個に応じた指導の実践	担任・副担任が生徒の状況を毎日把握する。 保護者やスクールカウンセラー等の関係機関と協力して、効果のある指導や支援を行う。	A A B				
学習指導	個の学力、理解に応じた分かる授業	ICTの活用や新課程に沿った学習評価を含めた授業づくりを推進する。 基礎学力の定着度を把握し、希望進路に応じて必要な学力を身に付けさせる授業を行う。	A A	A	ICTやアクティブラーニング型授業を積極的に取り入れ、分かる授業、達成感や学ぶ喜びを感じられる授業の実践を目指す。 学級や生徒一人一人の実態に応じた授業構成や指導の在り方を工夫し、個別の課題や補講等を組み入れながら、学びを充実させる。	A	・一律の学習体系はなかなか難しいところがあると思うが、是非辛抱強く教えていただきたい。 ・様々な工夫を授業にも取り入れて、生徒の興味や関心を引くような授業にしてほしい。
	基本的な生活習慣と学習習慣の確立	毎時の授業のねらいを明確にし、学習意欲や目的意識を高め、生徒が達成感を味わえる指導を行う。 授業規律と始業・終業の挨拶の励行を徹底する。	A B				
生徒指導	問題行動の未然防止を図ると共に、生徒の状況に応じた規範意識やマナーの向上を図る。	効果的な指導や支援を行うために、生徒の実態把握を進め、生徒理解に努める。 職員間での情報共有や生徒との信頼関係の構築により、問題行動の早期発見と早期対応、未然防止に努める。	A B	A	生徒情報交換会や担任・副担任の個別面談等による生徒の実態把握と職員間での共有、それに基づく指導の一貫性に次年度も引き続き取り組んでいく。 部活動については、日々の練習に打ち込み、大会等でも成果を發揮することができた。次年度は、さらに加入率を向上させるために様々な方策を工夫していく。	A	・様々な事情を抱えた生徒たちがいる中での生徒指導は時に難しいこともあると思うが、あきらめず、粘り強く指導をしてほしい。 ・生徒を多面的にとらえ、成功体験を糧に指導してほしい。
	生徒の実態を的確に把握し、主体的に学校生活を送らせると共に、他人を思いやる気持ちを育み、いじめのない学習環境をつくる。	いじめ防止に向け小さな変化も見逃さない、細やかな生徒観察と職員間での情報共有を行い、組織的な指導を実施する。 活動目標と活動内容の充実を図り、部活動の活性化に努め、加入率を向上させる。	A B				
	保護者との連携を強化し、基本的な生活習慣の確立を図る。	担任と教科担当者の連携を強化し、共有した情報を指導・支援に活用する。 SC、SSW等の専門職員や関係機関と適切な連携を図り、継続的指導を行い改善を促す。	B A				
進路指導	生徒のキャリア発達を促すため4年間を見据えたキャリア教育計画に基づいた指導を行う。	キャリア・パスポートを活用して、学校生活の中で基本的なコミュニケーション能力やマナーを意識した指導を行う。 進路ガイダンスを定期的実施し、進路について考える機会を充実させる。	B A	B	外部講師・機関を利用した講演会・企業見学は次年度以降も継続して行うとともに、総探で行うキャリア教育を更に充実させていく。 長期休業中の短期アルバイトを含め、アルバイト経験者を増加させることができたが、上級生のアルバイト未経験者には積極的にアルバイトを促していく。 資格試験を受験しようとしている生徒が増加傾向にあるので、各教科担当を中心にサポート体制を整える。	A	・様々な生活体験を通して、社会の仕組みや職業選択の可能性を広げることがよいくと感じている。引き続き行ってほしい。 ・アルバイト等を通して、社会の仕組みやルールを知ることは大事なこと。学校では学べない体験を今後も続けてほしい。
	キャリア教育の方針に基づいて、各学年の実態に合う進路指導を実施し、進路実現を図る。	職場見学やオープンキャンパス等の行事について、多様な形態のプログラムを準備する。 アルバイト等の社会経験が適切な職業観や勤労観の育成、勤労意欲の向上につながるよう指導する。	B A				
	高校卒業程度認定試験や各種検定試験に取り組ませることで、基礎学力や学習意欲の向上を図る。	目標を持って学習に取り組ませることで、進路について計画的に考え、主体的な学習や進路実現につなげる。	A				

保健指導	安心・安全な教育環境の整備に努める。	感染対策や校内の安全点検を徹底するとともに、不測の事態への備えを十分にしておく。 月末大掃除やロッカーの整理整頓を実施し、生徒一人一人の美化意識を向上させる。	B A	B	A	備品の過不足や状態等の管理を徹底する。また美化委員会や衛生委員会を活用する。
	保健教育・健康教育を通して、健康に対する意識や自己管理能力を高める。	給食時の衛生面の指導やマナー指導を徹底する。 専門機関との連携を図り、生命・健康・食育などに関連した指導や支援を充実させ、自己管理能力を高める。	B A			A
地域から信頼される学校づくり	安心・安全な学校の姿を積極的に発信し、体験入学(学校見学)に参加する中学生を増やす。	学校ホームページへのアクセス数を増やすために、更新作業を速やかに 行い、トップページを魅力的なものに変更する。 授業や行事、部活動など、定時制の教育活動について、発信する材料を 日常的に蓄積しておく。	C A	B	A	ホームページの担当者はそれなりの専門性を持つ人を掘り起こす。
	PTA活動の活性化を図り、PTA行事への保護者の参加を増やす。	PTA理事会の円滑な運営に努め、PTA活動や行事に参加しやすい状況をつくる。 意見交換や行事等の検討が活発に行われるように、事前に検討事項を周知し、アイデアを募る。	A A			A
	学校行事を通して、地域の人々との触れ合いや郷土に対する愛着を深める。	生徒の意見や希望を反映した企画にすることで、主体的な参加意欲を喚起する。 事前学習により意義やねらいを確認した上で、地域との関わりを意識して取り組ませる。	A A	A	A	学校行事は生徒の参加・協力によって円滑に進み、生徒相互の人間関係形成に成果をあげた。今後は生徒会の活用を図り、生徒の意見や考えを取り入れ進めたい。
	中学校訪問や公開授業を通して、本校の教育活動についての理解を得るとともに、地域における本校定時制の存在意義を高める。	年2回の中学校訪問では情報交換と共に、在校生や保護者の直接の声を届ける工夫をする。 公開授業の際に参加者との意見交換の場を設けることで、教育活動への理解を促す。	A A	A	A	生徒の情報を家庭訪問や中学校訪問を通じて交換、生徒個人の情報を把握して、生徒一人一人の高校生活につなげていく。
	生徒による授業アンケートや公開授業時の参観者アンケートを基に、授業改善と教育の質の向上を目指す。	全日制と連携して、ICTの活用やオンライン配信技術などの基本的で実用的な研修を実施する。 授業改善と学習評価に特化した研修会を実施し、職員が互いに授業改善について意見を交換する場を設ける。	A A	A	A	ICT支援員による授業支援や研修により、授業へのICT活用が広がった。次年度は更に、一人一台端末を積極活用した授業展開に取り組んでいく。

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

<ul style="list-style-type: none"> ・中途退学者の防止に努め、SCやSSWとの更なる連携を図る。 ・地域に信頼される定時制として、様々な生徒の実情を踏まえ、柔軟に対応できる組織力の構築。 ・キャリア教育の充実と4年後の進路を見据えた学年ごとの教育計画の実行。 ・ ・

A	<ul style="list-style-type: none"> ・定時制は欠食率が高いようだが、その背景にあるものは何だろうか。 ・カウンセリング等の充実を図り、生徒たちの心の悩みに応える体制づくりをお願いしたい。
A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体で子供たちを支えていく体制づくりをしてほしい。地元住民との交流の場を広げ、町全体で定時制を支えていくことが大切。 ・様々な事情を抱えた生徒たちが学びを継続できる場所として定時制は重要な役割を果たしている。大変だとは思いますが、先生方一人一人の頑張りにも期待している。 ・家庭と学校が連携を取りながら、不登校生徒が少ない学校にしてほしい。

評価項目以外のものに関する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・本年度、7月に発生した未曾有の大水害を受け、防災訓練を年に1度でも実施した方が良いのではないか。 ・卒業式はとてもよかった。特に70代の生徒もいらっしやっってなかなか大変だったと思うが、その後の進路先はどうなっているのか。 	